

## アルコール依存症

飲酒を繰り返すうちにお酒を飲む量が増えていくようになり、やがてお酒を飲まずにはいられなくなってしまう病気です。症状が進行すると、仕事や家庭生活に重大な影響を及ぼしたり、肝臓障害などの病気を引き起こしてしまうことがあります。



## てんかん

脳に何らかの障害や傷によって「全身を硬直させ直後にガクガクとけいれんする」「数秒から数十秒意識がなくなる」「ボーっとしている」などの発作を起こすものです。

## 受けられるサービス

精神疾患のために精神科・心療内科を通院されている人が利用できる、各種サービスがあります。

種別	内容
精神障害者保健福祉手帳	一定程度の精神障害の状態にあることを認定するものです。この手帳を取得することで、福祉サービスの受給、税の優遇措置を受けることができます。
自立支援医療(精神通院)	精神科の病気で治療を受ける場合、外来への通院、服薬、訪問看護などについて、自己負担の一部を支援する制度です。
障害福祉サービス	精神科の病気で治療中の人で、必要と認められた場合、ホームヘルプサービス、就労移行・継続支援などのサービスを受給することができます。

※対象となる疾患、必要書類、制度の詳細については、担当窓口へお問い合わせください。

## 相談窓口

相談窓口	電話番号	時間	
県北保健所保健福祉班	0950-57-3933	午前9時～午後5時	土・日・祝日を除く
福祉課障害福祉班	内線2566	午前8時30分～午後5時15分	

## 気づいたら早めの受診を!

精神疾患と聞いてどのようなことを思い浮かべますか。

精神疾患とは、脳の病気のこと、誰でもかかる可能性がある病気です。「精神力の強弱」や「性格」「親の育てかた」と「精神疾患のなりやすさ」は関係ありません。

精神疾患は、早い段階で発見し正しい治療を受け、治療を続けることで症状が穏やかになります。本人はもちろんのこと「いつもと様子が違うな」と気づいた身近な人が、治療を勧めることが大切です。医療機関では、精神科・心療内科などの専門医を受診してください。

一人で抱え込まず、医療機関や相談窓口へお気軽にご相談ください。

■お問い合わせ 福祉課障害福祉班 ☎内線2566

健康・福祉  
いきいき通信

health and welfare information

vol.73



## 主な精神疾患

### うつ病

「つらいことや悩みがあって落ち込み、何もする気が起きない」こうしたことは誰にでもあります。つらい状態がいつまでも続き、日常生活に支障が出るようならうつ病の可能性がります。

さまざまな出来事や体験で感じる強いストレス、過度の疲労、その人の性格や考え方などが影響し合い、脳内にトラブルが生じて心のエネルギーが低下してしまう病気です。「脳の充電切れ」とたとえられることもあり、「何をやる気も起らない」「集中力がない」「人に会うことがめんどろ」「夜眠れない」「食欲がなく、体重が減ってきた」などの症状があります。

怠けている、甘えていると誤解されがちですが、脳のトラブルによる病気なのです。



### 統合失調症

統合失調症とは、幻聴、幻覚、妄想、考えがまとまりにくい、社会的機能の低下(仕事や学業などができなくなる、能率が著しく落ちるなど)などの症状が見られる病気のことをいいます。特に幻聴や妄想では、被害者意識を感じるようなものも多く見られます。20～30歳代で発症することが多いです。

統合失調症の原因はまだはっきりとはわかっていませんが、悩み、ストレス、不安、環境の変化、遺伝的要因、脳内の伝達物質などに関連があるのではないかと説があります。

